

所信表明

辻町長による

所信表明（要約）

令和7年第2回清水町議会

定例会の開会にあたり、これからの町政運営にあたる私の基本的な考えを申し上げ、町議会議員の皆様並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。（中略）

町民の皆様の生活の安定に向け、長期的な戦略を持つて本町の持続的な更なる発展と、第6期清水町総合計画にお

けるまちの未来像「まちに気づく まちを築く とかち清水く想いをミライに繋ぐまち」

を実現するために町が抱える課題に向き合い、町民目線

の一つひとつ親切丁寧に且つスピード感をもち町政に取り

組む所存であります。（中略）

まず、財源確保についてであります。地方の財政状況は依然として厳しい状況が続いております。私は、新たに企

業版ふるさと納税（地方創生応援税制）の獲得に力を注い

でまいりたいと考えています。

企業版ふるさと納税は、税

制上のメリットがあるため、

全国では2019年33.8

億円だった寄付実績が202

3年度には470億円まで増

えております。私は渋沢栄一

翁とのご縁を大切にし、渋沢

栄一翁の関係する会社に通ッ

プセールスで協力をお願いす

ると共に、今日まで培った人

脈を通して企業版ふるさと納

税の協力を依頼し、自主財源

の確保に努めてまいります。

一方、個人の方々のふるさ

と納税につきましては、魅力

ある返礼品の開発を行い、納

税額の増加に繋げてまいります。

次に、主な施策について申

し上げます。昨今の物価高騰

により、町民生活は待ったな

しの状況が続いています。緊

急経済対策として、個人家庭

の水道料金、営農用水の値下

げを行ってまいります。

清水町の稼ぐ力を引き出す

拠点として「道の駅」の創設

に取り組んでまいります。道

の駅は全国で1230駅が存

在していますが、残念ながら

全ての道の駅が順調とは言い

切れません。

私は、窓から広がる日高山

脈標雲十勝国立公園と清水が

誇る酪農風景。その景観を全

国に発信し、渋沢栄一翁ゆか

りの施設を結ぶ動線を整備し、

訪問者を増やし地域の賑いと

雇用を生み出していきます。

将来の負担にならない道の駅

を創設するため、立地場所や

採算性を十分考慮しながら慎

重に進めてまいります。

働き手の確保は喫緊の課題

であります。農畜産業・介護

職の人材確保に向けてその方

法等に関係機関と協議し、ス

ピード感をもって全力で取り

組んでいきます。

次に全国から「やりたい」

を集め、民間活力で地元経済、

清水町を活性化します。清水

町と「やりたい」がコラボす

る研究所「しみずらぼ」を創

設し、企業、団体、個人の皆

様が実施したいプロジェクト・

取り組みを実現するために、

清水町のフィールド・資産を

有効に活用し、清水町がサポ

ートを行う仕組みを構築し、

関係人口の増加や企業誘致に

繋げてまいります。そして、

清水町にもっともっと住みた

くなる魅力を増やします。

歴代町長が行ってきた子育て

支援は継続するとともに、

更に充実を図ってまいります。

また、国際的に活躍できる

人材育成を図るため小中学校

に外国人英語講師を配置し、

すべての子どもが中学校卒業

時には英会話のできる実践的

な英会話授業を実現します。

併せて移住サポートとして、

貸付戸建て住宅に一定期間住

み続けると無償譲渡の「もら

える戸建制度」を創設します。

小中学生の修学旅行費の

無償化は継続すると共に、学

校給食については物価高騰分

は公費負担とし、給食費の据

え置きを図ってまいります。

清水高等学校の存続はまち

づくりには欠かせない重要な

ことであります。よりきめ細

かな支援体制を構築してまい

ります。昨年まで行っていた

買い物などに利用できる巡回

バスについては見直しを行い

ながら再運行していきたいと

考えています。また、旧いち

まる跡地について、土地所有

者と協議を行い新たな商業施

設の誘致に取り組んでまいり

ます。

次に、高齢者、障がい者を

支え、生きがいのある暮らし

を応援していきます。現在の

施策を継続するとともに、在

宅福祉サービスの充実を図っ

てまいります。更に障がい者

（児）及び高齢者タクシー乗

車券助成制度の充実を図っ

てまいります。

また、長寿化により耳の聞

こえに不便を感じる方が増え

ており、補聴器の購入に対す

る支援を行っていきます。

体育館建設につきましては

現在の計画を見直し、利用者

目線、経済効果、建設費調達

の観点から再検討してまいり

ます。（中略）

議会議員の皆様、町民の

皆様のご支援をお願い申しあ

げまして所信表明のあいさつ

とさせていただきます。

条例改正等

清水町まち・ひと・

しごと創生基金条例

の制定

企業版ふるさと納税に

よる会計年度を跨ぐ寄附

など、受入体制の整備の

ため基金を創設し、更な

る寄附の促進を図るもの。

【全員賛成で可決】

刑法等の一部を改正

する法律の施行に伴う

関係条例の整理に関す

る条例の制定

刑法等の改正により、

懲役及び禁錮が廃止され

拘禁刑に一元化されるこ

とに伴い関係条例の改正

するもの。

【全員賛成で可決】

清水町職員の勤務時間、

休暇等に関する条例等

の一部改正

人事院の「公務員人事

管理に関する報告」に基

づき、国の改正準じて改

正を行うもの。

【全員賛成で可決】

▼職員の育児休業等に関する条例の一部改正

介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の改正により、引用事項を改めるもの。

【全員賛成で可決】

▼清水町職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告の給与制度のアップデートに基づき、国家公務員に準じた改正を行うもの。

【全員賛成で可決】

▼第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部改正(2件)

①少人数学級臨時教諭の給料について、人事院勧告に基づき、条例で定める上限額を改正するもの。

②少人数学級臨時教諭を中学校において配置できるようにするための改正

【全員賛成で可決】

▼清水町議会の個人情報保護に関する条例の一部改正

いわゆる「マイナンバー法」の改正により、引用条項の「条ずれ」を解消するための改正

【全員賛成で可決】

専決処分

▼専決処分の報告

除雪車両の事故による損害賠償の額の決定及び和解について

【報告済】

▼専決処分の承認

令和6年度一般会計補正予算(第9号)

既定予算に2031万1千円を追加し、予算総額を95億9894万4千円とする。

内容は、除雪対策事業として、町道除雪委託料2000万円、自動車事故賠償金31万1千円

【全員賛成で可決】

補正予算

【令和6年度】

▼令和6年度一般会計補正予算(第10号)

既定予算に2924万7千円を追加し、予算総額を96億2819万1千円とする。主な補正内容は、いきいきふるさとづくり基金積立金の増、障害児通所給付費の増、国民健康保険基金安定化拠出金の増、十勝圏複合事務組合負担金(ごみ処理分等及びし尿処理分)の増、道営畑地帯整備事業(清水松沢地区及び美蔓地区)負担金の増、中小企業近代化資金利子補給等補助金の増、御影小学校職員玄関ドア防犯対策工事・小学校及び中学校非常用通報装置設置工事の増など。

【全員賛成で可決】

▼国民健康保険特別会計補正予算(第5号)

既定予算に46万6千円を追加し、予算総額を13億1506万5千円とする。

補正内容は、償還金の確定によるもの。

【全員賛成で可決】

▼後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第3号)

既定予算に337万4千円を減額し、予算総額を2億946万6千円とする。補正内容は、後期高齢者医療広域連合納付金の確定によるもの。

【全員賛成で可決】

▼介護保険特別会計補正予算(第5号)

既定予算に515万5千円を追加し、予算総額を12億6126万1千円とする。補正内容は、居宅介護サービス給付費・施設介護サービス給付費の増、特定入所者介護サービス日の減、介護予防事業費の減など。

【全員賛成で可決】

▼水道事業会計補正予算(第5号)

▼下水道事業会計補正予算(第5号)

【いずれも全員賛成で可決】

【令和7年度】

▼国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

▼水道事業会計補正予算(第1号)

【いずれも全員賛成で可決】

人事案件

▼副町長の選任について

西田史明さん(竹葉)を副町長に選任(新)したい旨の提案があり、議会は同意しました。

(起立採決、賛成8、反対4)

▼公平委員会委員の選任について

高橋富士江さん(富士)を公平委員会委員に選任(再)したい旨の提案があり、議会は同意しました。

▼固定資産評価審査委員会委員の選任について

残間美樹さん(本通5)を固定資産評価委員会委員に選任(再)したい旨の提案があり、議会は同意しました。



残間 美樹 さん

その他の議案

▼人権擁護委員候補者の推薦について

恩田喜久子さん(日の出3)を推薦したい旨の提案があり、議会は「適任」としました。



恩田 喜久子 さん

▼定住自立圏形成協定の變更について

第4期十勝定住自立圏共生ビジョンの策定に伴う、協定書の一部を變更する協定の締結について

【全員賛成で可決】



高橋 富士江 さん